

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **07-334633**

-(43) Date of publication of application : **22.12.1995**

(51)Int.Cl.

G06K 17/00

G06F 3/08

G06F 17/60

(21)Application number : 06-130619

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : **13.06.1994**

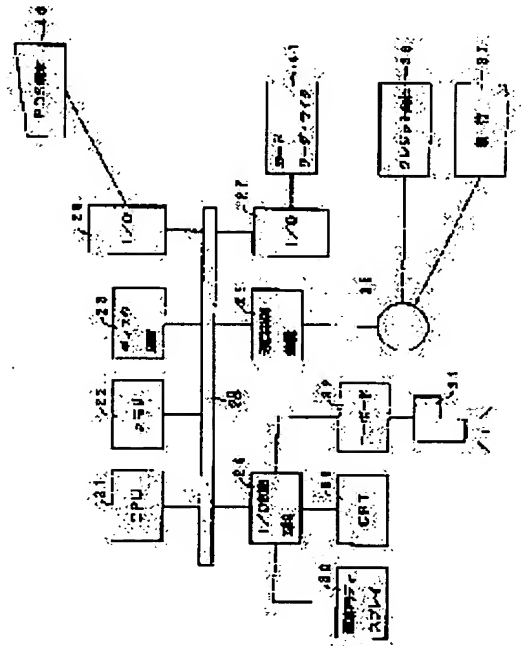
(72)Inventor : **NAKABAYASHI SHIGERU**

**(54) MULTI-FUNCTIONAL CARD PROCESSING METHOD AND TERMINAL EQUIPMENT USING THE CARD PROCESSING METHOD**

(57)Abstract:

**PURPOSE:** To shorten the operating time by reading en bloc all card information out of a multi-functional card and using a selected system based on the card information corresponding to the selected system among those card information when a desired system is selected.

CONSTITUTION: Bank POS information, credit information, stamp point information and prepaid information are all read out of the magnetic stripes of the multi-functional card that is loaded in a card reader/writer 41. These read information are stored in a memory 22. Then, a selection menu is displayed on a CRT 33 for selection of a credit card processing selection icon or a prepaid card processing selection icon, etc. When either one of icons is selected, this selection is decided and the credit card or prepaid card processing is carried out based on the deciding result. Then, the bank POS processing and the point processing are carried out, and the processing is finished.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 29.05.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-334633

(43) 公開日 平成7年(1995)12月22日

(51) IntCl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 K 17/00		B		
G 0 6 F 3/08		A		
17/60				
			G 0 6 F 15/ 21	3 1 0 Z
				3 4 0 Z
			審査請求 未請求 請求項の数2	OL (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-130619  
(22) 出願日 平成6年(1994)6月13日

(71) 出願人 000005223  
富士通株式会社  
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
(72) 発明者 中林 茂  
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内  
(74) 代理人 弁理士 伊東 忠彦

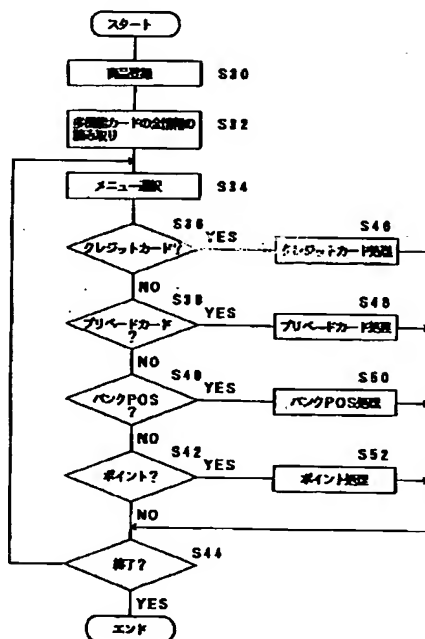
(54) 【発明の名称】 多機能カード処理方法及びそれを用いた端末装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は多機能カード処理方法及びそれを用いた端末装置に関し、複数の機能を連続して使用する際に多機能カードの読み取り操作が1回で済み、オペレータの負担を軽減でき、操作時間が短縮され効率が向上することを目的とする。

【構成】 多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取り、使用するシステムを選択したとき、上記一括して読み取ったカード情報の中の上記選択したシステムに対応するカード情報を用いて上記選択したシステムを使用する。

多機能カード処理のフローチャート



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のシステム夫々で利用されるカード情報が記録され上記複数のシステムの機能を利用できる多機能カード処理方法において、  
上記多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取り、  
使用するシステムを選択したとき、上記一括して読み取ったカード情報の中の上記選択したシステムに対応するカード情報を用いて上記選択したシステムを使用することを特徴とする多機能カード処理方法。

【請求項2】 複数のシステムで利用されるカード情報が記録され上記複数のシステムの機能を利用できる多機能カードを用いて上記複数のシステムのいずれかを使用する端末装置において、  
上記多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取る一括読取手段（M1）と、  
読み取られた全てのカード情報を記憶するカード情報記憶手段（M2）とを有し、  
使用するシステムの選択に応じて上記カード情報記憶手段から選択したシステムのカード情報を取り出して使用

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】多機能カード処理方法及びそれを用いた端末装置に関し、複数のシステムの機能を利用できる多機能カードの処理方法及びそれを用いた端末装置に関する。

【0002】近年、複数の磁気ストライプ又はICメモリを1枚のカードに設け、例えば、クレジットカードシステム、プリペードカードシステム、ポイントシステム、バンクPOSシステム等の多数の機能を有する多機能カードが注目を浴びている。

## 【0003】

【従来の技術】従来、POS（ポイント・オブ・セールス）端末で上記の多機能カードを使用する際には、どのシステムを使用するかを指定した後、POS端末のカードリーダー・ライタによって多機能カードから指定したシステムに関するカード情報を読み出し、この情報を用いて指定したシステムの処理を実行する。またシステムによってはその処理結果を多機能カードの指定したシステムに関する情報の記憶場所に書き込む。

【0004】例えばクレジットカードシステムを使用する場合は、図9に示す如く、ステップS10でクレジットカードシステムの使用を指定し、これによってステップS12で多機能カードからクレジット情報を読み取る。この後、ステップS14のクレジット処理では、商品番号、金額等を入力してクレジット情報と共に通信回線によりクレジット会社のコンピュータシステムに伝送し、このコンピュータシステムから応答を得て伝票の表示、印刷等を行って終了する。

2

【0005】また、プリペードカードシステムを使用する場合は、図10に示す如く、ステップS20でプリペードカードシステムの使用を指定し、これによってステップS22で多機能カードからプリペード情報（残金）を読み取る。この後、ステップS24のプリペード処理では、金額等を入力してプリペード情報の金額から入力金額を減算してこの残金をプリペード情報として多機能カードに書き込み終了する。

## 【0006】

10 【発明が解決しようとする課題】従来のPOS端末では多機能カードを使用する際に、機能単位で操作を行わなければならない。このため、1機能だけを使用する場合には何ら問題ないが、複数機能を使用する場合、例えばプリペードカードシステムで支払いを行い、かつポイントシステムで支払い金額に応じたスタンプポイントを加算する場合には、まずプリペードカードシステム使用の操作を行って多機能カードからプリペード情報を読み取りプリペード処理を行い、その処理の終了後、次にポイントシステム使用の操作を行って多機能カードからスタンプポイント情報を読み取りポイント処理を行う必要がある。

【0007】このように複数機能を連続して使用する場合にも、機能毎に操作を行ってその都度多機能カードを読み取るため、POSオペレータの負担が大きく、操作時間もかかり効率が悪いという問題があった。

【0008】本発明は上記の点に鑑みなされたもので、複数の機能を連続して使用する際に多機能カードの読み取り操作が1回で済み、オペレータの負担を軽減でき、操作時間が短縮され効率が向上する多機能カード処理方法及びそれを用いた端末装置を提供することを目的とする。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、複数のシステム夫々で利用されるカード情報が記録され上記複数のシステムの機能を利用できる多機能カード処理方法において、上記多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取り、使用するシステムを選択したとき、上記一括して読み取ったカード情報の中の上記選択したシステムに対応するカード情報を用いて上記選択したシステムを使用する。

【0010】請求項2に記載の発明は、複数のシステムで利用されるカード情報が記録され上記複数のシステムの機能を利用できる多機能カードを用いて上記複数のシステムのいずれかを使用する端末装置において、上記多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取る一括読取手段と、読み取られた全てのカード情報を記憶するカード情報記憶手段とを有し、使用するシステムの選択に応じて上記カード情報記憶手段から選択したシステムのカード情報を取り出して使用する。

50 【0011】

【作用】請求項1に記載の発明においては、多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取り、使用するシステムを選択したとき、一括して読み取ったカード情報の中の選択したシステムに対応するカード情報を用いて上記選択したシステムを使用するため、複数の機能を連続して使用する際に多機能カードの読み取り操作が1回で済み、オペレータの負担を軽減でき、操作時間が短縮される。

【0012】請求項2に記載の発明においては、多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取る一括読取手段と、読み取られた全てのカード情報を記憶するカード情報記憶手段とを有するため、請求項1の処理方法を利用できる。

【0013】

【実施例】図2(A)、(B)は本発明方法で使用される多機能カードの一実施例の正面図、背面図を示す。同図中、多機能カード10は表面10aに1本の磁気ストライプ11が設けられ、裏面10bに3本の磁気ストライプ12、13、14が設けられている。磁気ストライプ11にはバンクPOS情報15が記録されている。磁気ストライプ12は未使用である。磁気ストライプ13にはクレジット情報16が記録されている。磁気ストライプ14にはスタンプポイント情報17及びプリペード情報18が記録されている。

【0014】上記のバンクPOS情報15としては銀行コード、支店コード、顧客ID(口座番号)等が記録されており、クレジット情報16としてはクレジット会社コード、クレジット会員番号、有効期限等が記録されている。またスタンプポイント情報17としては会員ID、スタンプポイント値が記録され、プリペード情報としては会員ID、利用可能な残金の金額が記録されている。

【0015】図3は本発明方法を適用したPOS端末の一実施例のブロック図を示す。同図中、CPU21はPOS端末全体の制御を行う。メモリ22はCPU21の実行プログラムの格納及び作業領域等に用いられる。ディスク装置23にはプログラム及び各種マスタファイル及び取引データ等が格納される。これらのCPU21、メモリ22、ディスク装置23は、入出力制御回路24、通信制御装置25、インタフェース回路26、27と共に内部バス28によって相互に接続されている。

【0016】入出力制御回路24には顧客用ディスプレイ30、バーコードリーダ31付きのキーボード32、CRTディスプレイ33夫々が接続されている。通信制御装置25は電話回線35によってクレジット会社36又は銀行37夫々のコンピュータシステムに接続される。インタフェース回路26には他のPOS端末40が接続され、インタフェース回路27にはカードリーダ・ライタ41が接続されている。なお、CPU21等で構成されるPOS端末をマスタとすれば、POS端末40

はスレーブとして動作する。

【0017】図1は上記のPOS端末が実行する多機能カード処理のフローチャートを示す。同図中、ステップS30ではバーコードリーダ31等で販売商品の商品番号及び数量及び金額を読み取り集計及び登録する。

【0018】次に一括読取手段M1に対応するステップS32ではカードリーダ・ライタ41に装着された多機能カード10の磁気ストライプ11、13、14から、バンクPOS情報15及びクレジット情報16及びスタンプポイント情報17及びプリペード情報18を全て読み取る。つまり、このステップではどのシステムを使用するか決まらない段階で多機能カード10の全ての情報を読み取り、カード情報記憶手段M2に対応するメモリ22に格納する。

【0019】次にステップS34でCRT33に図4に示す如き選択メニューを表示してクレジットカード処理選択用アイコン50、プリペードカード処理選択用アイコン51、バンクPOS処理選択用アイコン52、ポイント処理選択用アイコン53、終了選択用アイコン54のいずれかが選択されるのを待つ。

【0020】いずれかのアイコンが選択されるとステップS36、S38、S40、S42、S44夫々がクレジットカード処理の選択か、プリペードカード処理の選択か、バンクPOS処理の選択か、ポイント処理の選択か、処理の終了かを夫々判別する。そしてこの判別結果によってステップS46でクレジットカード処理を実行し、ステップS48でプリペードカード処理を実行し、ステップS50でバンクPOS処理を実行し、ステップS52でポイント処理を実行する。また終了を選択した場合は図1の処理を終了する。

【0021】図5はクレジットカード処理のフローチャートを示す。同図中、ステップS60では登録された商品及び金額(ステップS30で登録)のうちクレジット対象とする商品及び金額を指定する。次のステップS62でクレジット会社36にメモリ22から読み出したクレジット情報16(ステップS34で取得)及び指定された商品及び金額を伝送して照会を行う。ステップS64ではクレジット会社36からの応答を受信し、ステップS66でこの応答に従って伝票を作成しステップS34に戻る。

【0022】図6はプリペードカード処理のフローチャートを示す。同図中、ステップS70では登録された商品及び金額(ステップS30で登録)のうちプリペードカードの支払い対象とする金額を指定する。次のステップS72で指定した金額をメモリ22から読み出したプリペード情報18の金額から減算し、ステップS74で残金を新たなプリペード情報としてカードリーダ・ライタ41により多機能カード10のプリペード情報18を書き換え、ステップS34に戻る。

【0023】図7はバンクPOS処理のフローチャート

を示す。同図中、ステップS80では登録された商品及び金額（ステップS30で登録）のうち銀行口座から金額を引き落とすバンクPOS対象とする金額を指定する。次のステップS82で銀行37にメモリ22から読み出したバンクPOS情報15（ステップS34で取得）及び指定された金額を伝送して照会を行う。ステップS84では銀行37からの応答を受信し、ステップS86でこの応答に従って伝票を作成しステップS34に戻る。

【0024】図8にポイント処理のフローチャートを示す。同図中、ステップS90ではステップS30で登録された商品及び金額のうち、商品をポイント対象とするか金額をポイント対象とするかを指定する。次のステップS92でポイント対象をディスク装置23に格納されているポイントテーブルを参照してスタンプポイント数を決定する。そしてステップS94でメモリ22から読み出したスタンプポイント情報17（ステップS34で取得）のスタンプポイント数に前ステップで決定したスタンプポイント数を加算し、ステップS96で新たなスタンプポイント情報としてカードリーダー・ライタ41により多機能カード10のスタンプポイント情報17を書き換え、ステップS34に戻る。

【0025】このように、ステップS32で多機能カード10の磁気ストライプ11～14に記録されている全機能の情報を読み取るため、複数の機能を連続して使用する際に多機能カードの読み取りの操作が1回で済み、POSオペレータの負担が軽減され、かつ操作時間が短縮され、効率が向上する。

【0026】なお、上記実施例では複数の磁気ストライプを持つ多機能カードを例にして説明を行ったが、ICメモリを持つ多機能カードであっても良く、上記実施例に限定されない。

【0027】

【発明の効果】上述の如く、請求項1に記載の発明によれば、多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取り、使用するシステムを選択したとき、一括して読み取ったカード情報の中の選択したシステムに対応する

カード情報を用いて上記選択したシステムを使用するため、複数の機能を連続して使用する際に多機能カードの読み取り操作が1回で済み、オペレータの負担を軽減でき、操作時間が短縮され、効率が向上する。

【0028】また、請求項2に記載の発明によれば、多機能カードから全てのカード情報を一括して読み取る一括読取手段と、読み取られた全てのカード情報を記憶するカード情報記憶手段とを有するため、請求項1の処理方法を利用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の多機能カード処理のフローチャートである。

【図2】本発明の多機能カードを示す図である。

【図3】本発明のPOS端末のブロック図である。

【図4】本発明のメニューを示す図である。

【図5】本発明のクレジットカードを示す図である。

【図6】本発明のプリペイドカードを示す図である。

【図7】本発明のバンクPOSを示す図である。

【図8】本発明のポイントを示す図である。

【図9】従来処理のフローチャートである。

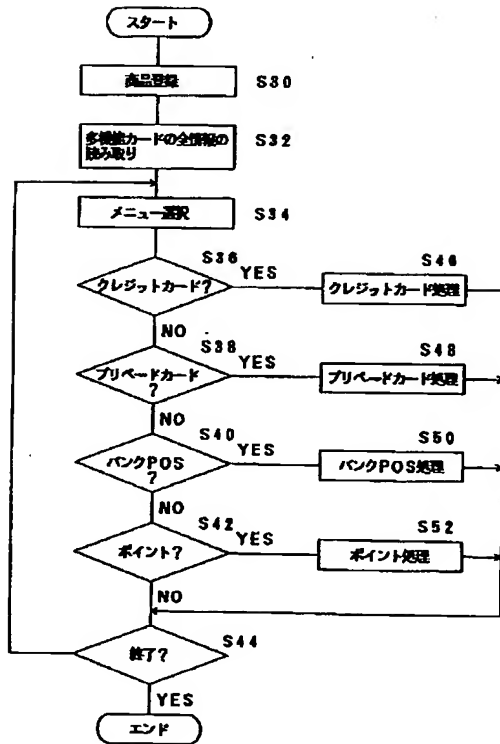
【図10】従来処理のフローチャートである。

【符号の説明】

- 10 多機能カード
- 11～14 磁気ストライプ
- 15 バンクPOS情報
- 16 クレジット情報
- 17 スタンプポイント情報
- 18 プリペイド情報
- 21 CPU
- 22 メモリ
- 23 ディスク装置
- 31 バーコードリーダー
- 36 クレジット会社
- 37 銀行
- 40 POS端末
- 41 カードリーダー・ライタ

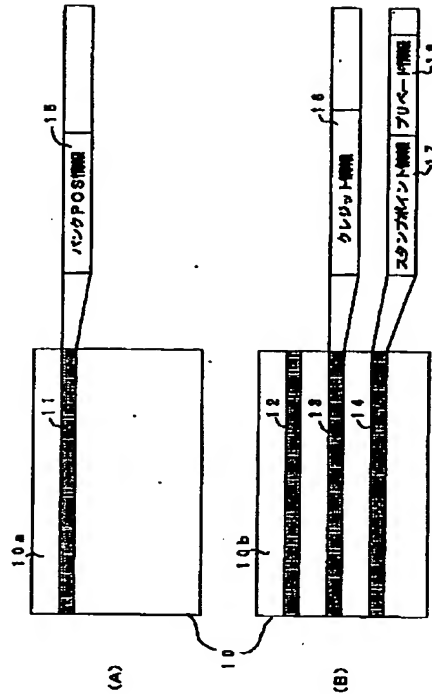
【図1】

多機能カード処理のフローチャート



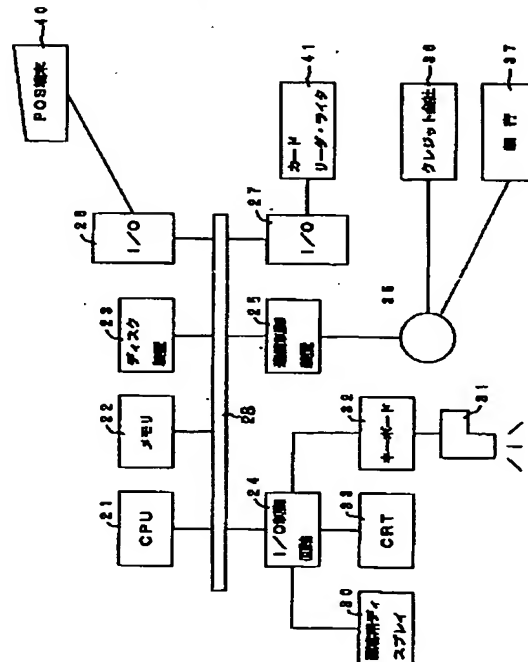
【図2】

多機能カードを示す図



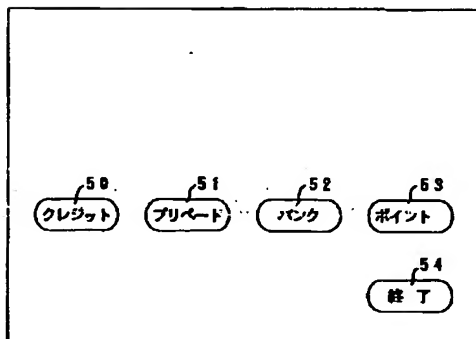
【図3】

POS端末のブロック図



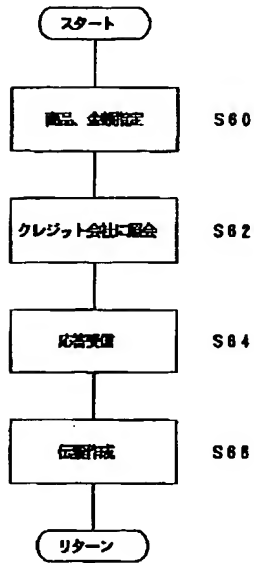
【図4】

メニュー表示図



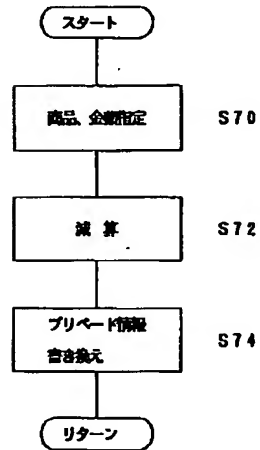
【図5】

クレジットカード処理のフローチャート



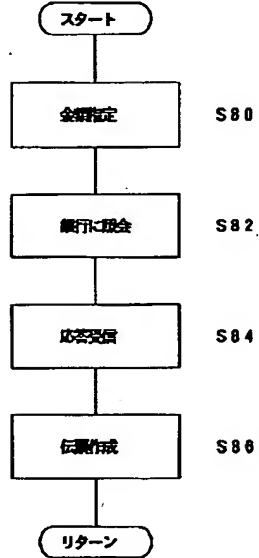
【図6】

プリペードカード処理のフローチャート



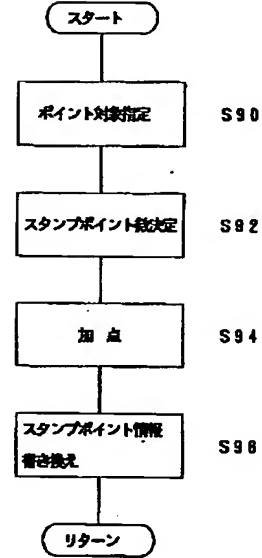
【図7】

バンクPOS処理のフローチャート



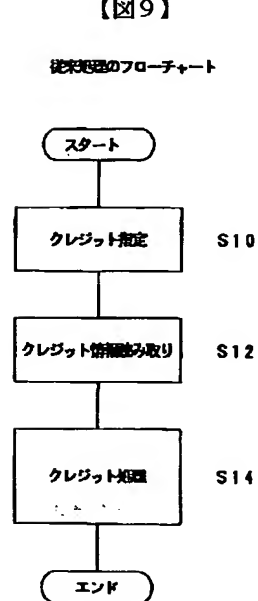
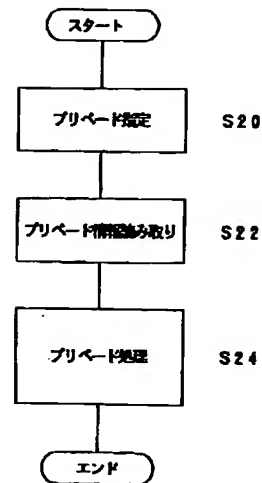
【図8】

ポイント処理のフローチャート



【図9】

従来処理のフローチャート

【図10】  
従来処理のフローチャート

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-176252

(43)公開日 平成6年(1994)6月24日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 F 7/08				
G 0 6 F 15/30	3 5 0 A	6798-5L		
G 0 6 K 17/00		R 7459-5L		
G 0 7 B 1/00	E	8111-3E		
		9256-3E		
			G 0 7 F 7/08	M

審査請求 未請求 請求項の数5(全5頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平4-325199

(22)出願日 平成4年(1992)12月4日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71)出願人 000233457

日立中部ソフトウェア株式会社

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号

(72)発明者 宮川 宏子

愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地 株式会

社日立製作所オフィスシステム事業部内

(72)発明者 杉山 智之

愛知県名古屋市中区栄三丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

最終頁に続く

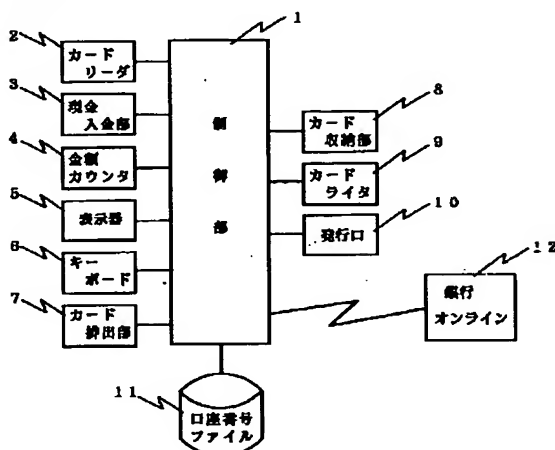
(54)【発明の名称】 カード発行システム

(57)【要約】

【目的】複数種、複数枚のカードの残金額をまとめて、利用者の目的に合わせて選択される一枚のカードに変更発行する。

【構成】複数種別、複数枚数のカードをリードするカードリーダー2と、現金を入金する現金入金部3と、リード結果の金額を合計し、さらに現金入金部3での金額を金額合計手段によりカード金額に加算する金額カウンタ4とその表示を行なう表示器5と、利用者選択によりカード種別を決定する種別選択を行なうためのキーボード6と、旧カードを装置外へ排出するカード排出部7と、データ未記入の共通のカードを収納するカード収納部8と、データを書き込み発行を行なうカードライター9と、発行口10と、入力カードや発行カード種別や金額により銀行口座に料金振替を行なうための口座番号ファイル11とオンラインで接続された銀行オンライン12とを備える。

図1





## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カード種別データ及び金額データを記憶するカードを読み取り、複数枚の上記カードの金額を合算した金額データを記憶した1枚のカードを発行することを特徴とするカード発行システム。

【請求項2】 現金で入金された金額を上記発行するカードの合計金額データにさらに合算して発行することを特徴とする請求項1記載のカード発行システム。

【請求項3】 発行するカードのカード種別を、オペレータの選択により決定することを特徴とする請求項1もしくは2記載のカード発行システム。

【請求項4】 発行する上記カードに、指示されたカード種別、金額データを書き込む手段をもつことを特徴とする請求項1、2、3のいずれかの項記載のカード発行システム。

【請求項5】 カード種別の変更に応答して、カード発行元への料金振替をオンラインにて行う手段を有することを特徴とする請求項3もしくは4記載のカード発行システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カード発行システムに関し、さらに詳細にはプリペイドカード発行に好適なカード発行システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】現在、電話、電車、バス、デパート等、多種類のプリペイドカードが発行されており、使い残しのカードや不要カードが何枚も手元に残ることがある。それらの残金少となったカードの対応としては、特開昭63-226798号公報に記載のように、使い残しなどの旧カード一枚と現金を投入することにより、旧カードの残金と現金が合計された、旧カードと同種の新規カードを発行するものがある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の方式によるカード発行装置は、入金カードは一枚に限られ入金側のカードが複数枚ある場合について考慮されていない。また、電話カードから電車カードへといった種別間の変更は考慮されておらず、入金、発行とも、データ読み書きが金額データのみで、装置ごとに定められた一種類に限られている。

【0004】本発明の目的は、2枚ないしそれ以上のカードを合算して1枚のカードにするカード発行装置を提供することにある。

【0005】また、本発明のもう1つの目的は異なる2枚ないしそれ以上のカードを合算して1枚のカードにするカード発行装置を提供することにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明のカード発行装置は、カード種別データ及び

金額データを読み取り、該種別データ及び金額データを新規カードに記憶し、1枚の新規カードを発行する。

【0007】また、さらに現金が入金されると、該入金額を上記カード合計金額データと合算し、カード合計金額と現金入金額とを合計し記憶した1枚の新規カードを発行する。

【0008】また、さらに発行するカードの種別をオペレータの選択により決定する手段を具備することにより、オペレータ指定の1枚の新規カードを発行する。

【0009】また、上記手段と、さらに発行するカードに指示されたカード種別、金額データを書き込む手段を具備することにより、カード種別と合計金額とを書き込んだ1枚の新規カードを発行する。

【0010】また、上記手段と、さらにカード種別の変更に応答してカード発行元への料金振替をオンラインにて行う手段を具備することにより、カード発行時に料金の精算を終えた1枚の新規カードを発行する。

## 【0011】

【作用】本発明によれば、カード種別データ及び金額データを記憶したカードを複数枚リードし、リード結果の金額を合計し、必要に応じて現金を入金させ、カードの合計金額と挿入金額を合算することにより新規カードの金額を決定する。さらに種別選択させることによって目的にあった1枚のカードを発行すると同時に、カード種別の変更に応答して、カード発行元への料金振替をオンラインによって行う。

## 【0012】

【実施例】本発明の実施例を図1、図2、図3により説明する。

【0013】図1は本発明の一実施例のカード発行システムの構成を示すブロック図、図2は図1の口座番号ファイルを示す図、図3は本発明の一実施例の制御動作を示す流れ図である。

【0014】図1において、本発明によるカード発行システムは、制御部1と、複数種類、複数枚数のカードの種別、金額をリードするカードリーダー2、現金入金部3、カードリーダーでリードしたカード金額及び、現金入金部より入金した金額の合計をカウントする金額カウンタ4、カウンタの金額を表示する表示器5、カード種別選択キーをもつキーボード6、入力カードの金額データを0円クリアし排出する排出部7、発行媒体が収納されているカード収納部8、発行指示されたデータを発行カードに書き込みするカードライター9、発行口10、および口座番号ファイル11からなり、また銀行オンライン12と接続される。口座番号ファイル11は、図2のようにカード種別毎に発行元データ13と、銀行口座番号データ14が対応付けられて登録されているファイルである。

【0015】次に動作例について、図3の流れ図を参照し、旧カード挿入から新規カード発行までを詳細に説明

する。

【0016】まず、カード挿入口からカードが挿入されると(ステップ100)、カードリーダー2によって挿入されたカードの種別、金額をリードする(ステップ101)。リードされた金額データは金額カウンタ4に記憶され、その金額は表示器5に表示される(ステップ103)。さらにカード追加挿入があると(ステップ104)、挿入されたカードの枚数分の金額データをリードして(ステップ101)、カウンタに加算(ステップ102)、表示器5に更新表示する(ステップ103)。現金が追加入金されるときは(ステップ105)、現金入金部3より現金入金がされる(ステップ106)。入金金額は、金額カウンタ4に加算され(ステップ107)、表示器5に表示される(ステップ108)。入金金額が決定するとキーボード6より、カード種別が選択入力される(ステップ109)。発行カード種別が入力されると、カード収納部8より、カードを搬送し(ステップ110)、カードライター9で、合計された入金金額、カード種別をカードに書き込み(ステップ111)、発行口より排出する(ステップ112)。さらに、挿入された旧カードは、カードライター9によって金額データを0円に書き込みをされてから、カード排出部7によって排出される(ステップ113)。合算する金額のカード種別が変わり、発行元が異なる場合、料金の両替を行う必要がある。このような場合、さらに読み込んだカード、発行カードの種別により、口座番号ファイル11より、該当する発行元の口座番号を参照し、銀行オンラインシステム12を介して、払戻し、および発行した料金の振替を行う(ステップ114)。

【0017】また、本発明で使用するカードは、磁気記

録のカード、ICメモリを搭載したメモリカード、マイクロプロセッサとメモリを搭載したICカードでも良い。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば、残金が少額になった複数枚の使い残しのカードや不要のカードを、利用者の選択により必要な一枚のカードにまとめることができる。

【0019】さらに、変更発行にともなう発行元への料金の振替を、自動に行うことも可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すブロック図。

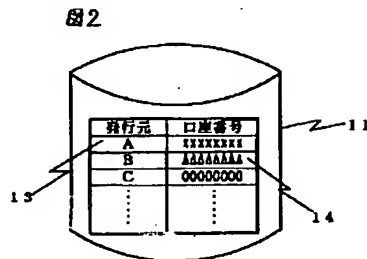
【図2】図1の口座番号ファイルの例を示す図。

【図3】本発明の実施例のを示す流れ図。

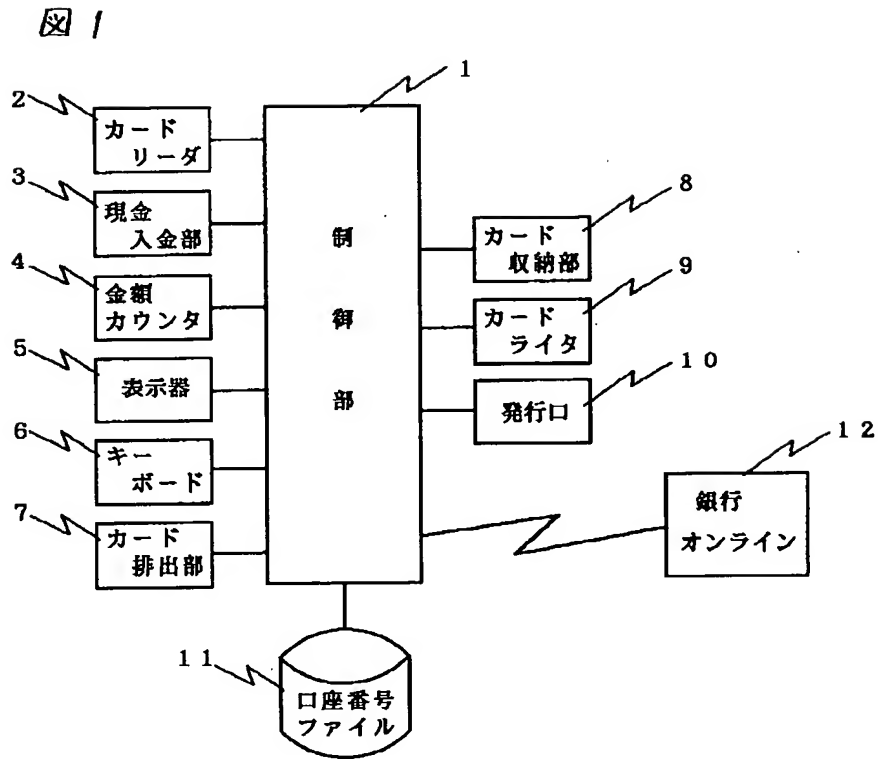
【符号の説明】

- 1 制御部
- 2 カードリーダー
- 3 現金入金部
- 4 金額カウンタ
- 5 表示器
- 6 キーボード
- 7 排出口
- 8 カード収納部
- 9 カードライター
- 10 発行口
- 11 口座番号ファイル
- 12 銀行オンラインシステム
- 13 発行元データ
- 14 口座番号データ

【図2】

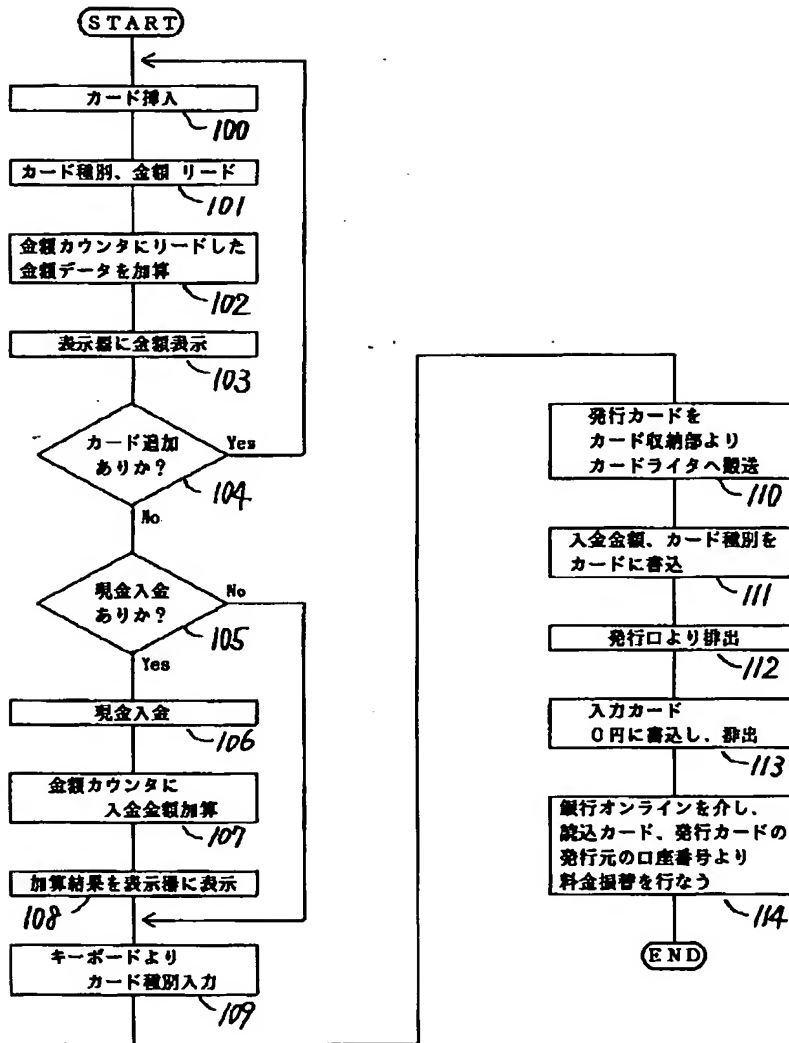


【図1】



【図3】

3



フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>5</sup>

G 0 7 B 5/00

G 0 7 D 9/00

識別記号

庁内整理番号

D 8111-3E

4 3 6 Z 8513-3E

F I

技術表示箇所

(72)発明者 日比野 はるみ

愛知県名古屋市中区栄三丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内